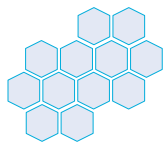


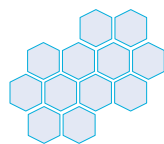
2021年2月期 決算説明会

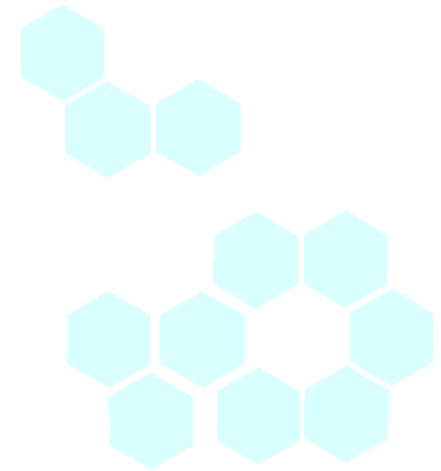
2021年4月15日

代表取締役社長 河田 淳



1.	2021年2月期 決算概要	… P.3
2.	2022年2月期 業績見通し	… P.24
3.	中本グループを取り巻く状況と 2022年2月期 重点取り組み	… P.29
4.	参考資料	… P.46










2021年2月期 決算概要

2021.2期の連結売上高、連結営業利益は**増収増益**。(過去最高)

連結売上高:36,033百万円(前期比+5.7%)

連結経常利益:1,715百万円(前期比+11.9%)

親会社株主に帰属する当期純利益:1,315百万円(前期比+21.2%)

-  **新型コロナウイルス感染症の影響で来店客数が減少したコンビニエンスストア向けや、イベント・行楽向けの弁当容器などが減少。**
-  **中食や内食需要により、スーパーマーケット向け包材や持ち帰り・デリバリー容器は堅調。**
-  **電子部品製造用フィルムが5G関連や半導体の好調により増加。スマートフォン用途も堅調。**
-  **輸液関係包材、新規導入の塗工機による機能性建材などの新規案件が順調に推移。**
-  **2020年7月に三国紙工(株)の連結子会社化による負ののれん発生益により、特別利益が増加。**

2019年9月より稼働した埼玉第三工場が単年度黒字化

完成実物写真



2018年9月：工場完成
2019年3月：テスト稼働を開始
2019年9月：本格量産稼働を開始



2021年2月：単年度黒字化を達成

中国経済の悪化やファーウェイ問題で5G関連の需要が減少、フル稼働まで時間が掛かったが、2020年には本格的に稼働を開始し、2021年2月期には黒字化を達成し、収益に貢献

2019年9月に稼働を開始した滄州工場も単年度で黒字化

廊坊から滄州への生産移管



2019年1月:工場完成
2019年3月:テスト稼働開始
2019年9月:量産稼働開始



2020年12月:単年度で黒字化

許認可取得の遅延により、量産稼働が1年遅れたが2020年度は旧廊坊工場より順調に生産移管を進め、単年度で黒字化を達成

紙への押出ラミネート技術に強みを持つ三国紙工を子会社化

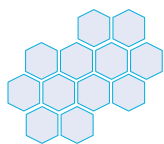


2015年9月：持分法適用関連会社
2020年7月：第三者割当増資引受
及び連結子会社化

紙容器への対応が可能となり
より一層の環境対応を進める

事業内容

紙・プラスチックフィルムなど
のラミネート加工及び
コーティング加工品の製造・販売



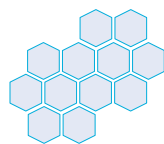
Nブランド専用工場と製造ライン新設



- NAK-A-PET、NC-PET用シート押出生産設備を導入
- 2021年3月1日より「環境素材事業部 押出成形工場」として稼働中

2020年12月よりテスト稼働開始

「押出技術開発室」を付設し、研究・開発、試作、生産をワンストップで行える体制を構築



海外事業拡大の一環で、ベトナムに法人設立



2021年3月完成

製造品目

IT・工業材関連

生活資材関連

自動車内装材、圧縮袋を
中心に製造開始

経過(2021年4月時点)

2020年5月:法人設立

2021年3月:工場完成

2021年4月:機械搬入手続中



市場拡大が期待される東南アジアでの積極展開とリスク分散を図る。
2021年3月に工場建設完了。

決算ハイライト

(連結)

(単位:百万円、下段は構成比)

	2020.2期 実績	2021.2期					
		実績	前期比		計画	計画比	
			差額	比率		差額	比率
売上高	34,100	36,033	+1,933	+5.7%	34,500	+1,533	+4.4%
売上総利益	5,249 (15.4%)	5,695 (15.8%)	+446	+8.5%	5,490 (15.9%)	+205	+3.8%
販管費	3,716 (10.9%)	3,980 (11.0%)	+263	+7.1%	3,861 (11.2%)	+119	+3.1%
営業利益	1,533 (4.5%)	1,715 (4.8%)	+182	+11.9%	1,629 (4.7%)	+86	+5.3%
経常利益	1,608 (4.7%)	1,750 (4.9%)	+141	+8.8%	1,650 (4.8%)	+100	+6.1%
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,085 (3.2%)	1,315 (3.7%)	+229	+21.2%	1,148 (3.3%)	+167	+14.6%

研究開発費	64	87	23	+35.8%	101	▲13	▲13.2%
設備投資額*	1,739	2,070	330	+19.0%	2,407	▲336	▲14.0%
減価償却費	1,003 (2.9%)	1,053 (2.9%)	50	+5.0%	1,091 (3.2%)	▲38	▲3.5%

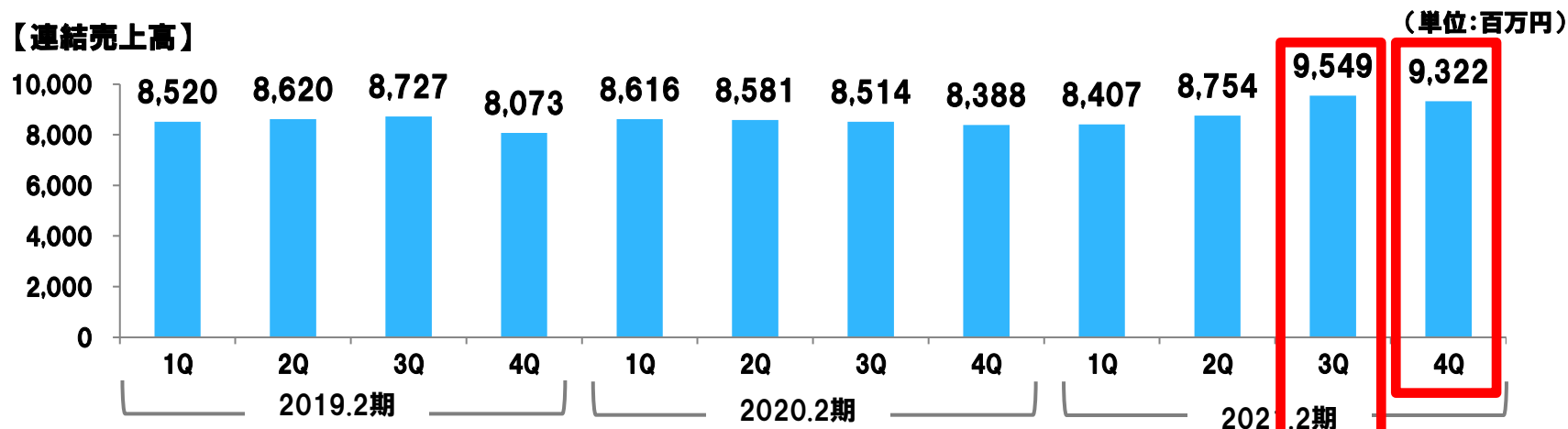
*:設備投資額には建設仮勘定は含まない

(注) 換算レート 2021.2期 15.8円/元

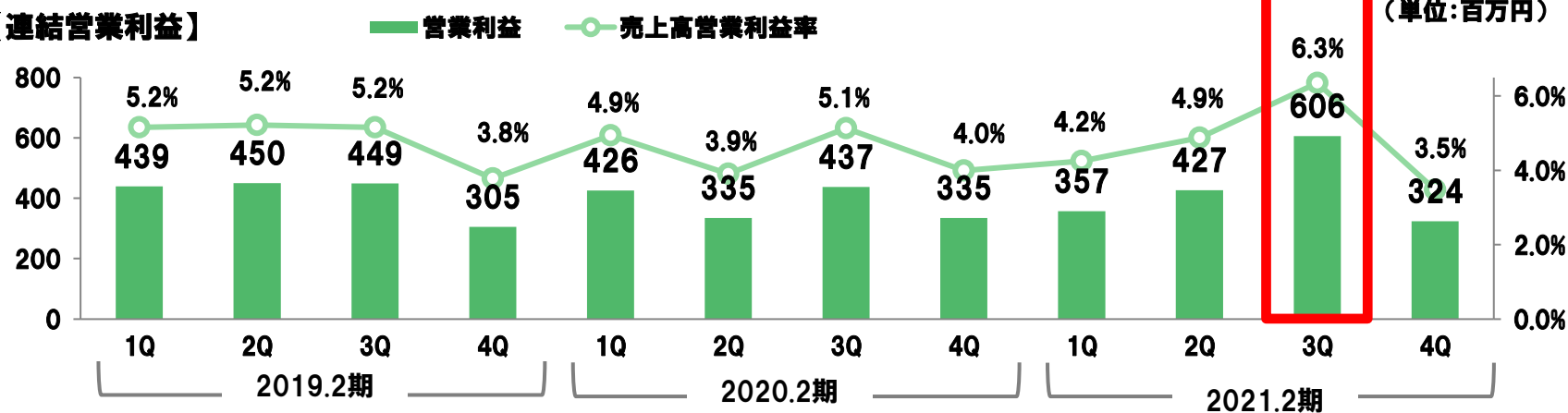
四半期毎 売上・営業利益推移

- 上半期は想定していた通り新型コロナウイルスの影響により前年同期を下回った。
- 下半期は国内、国外子会社中心に第3四半期に過去最高の売上と利益を達成。

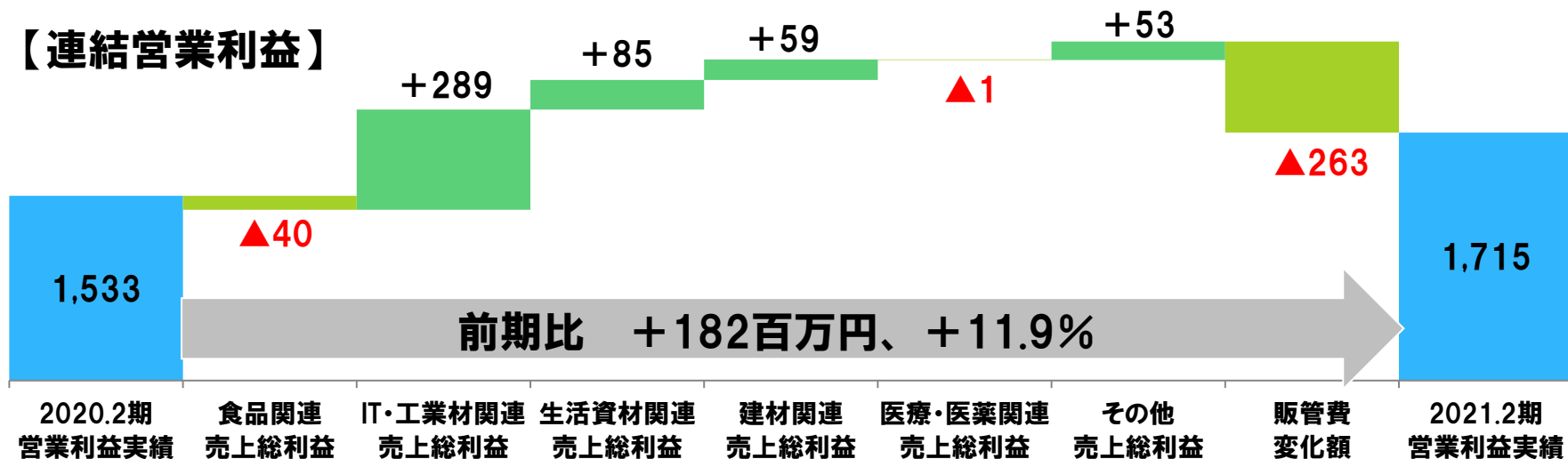
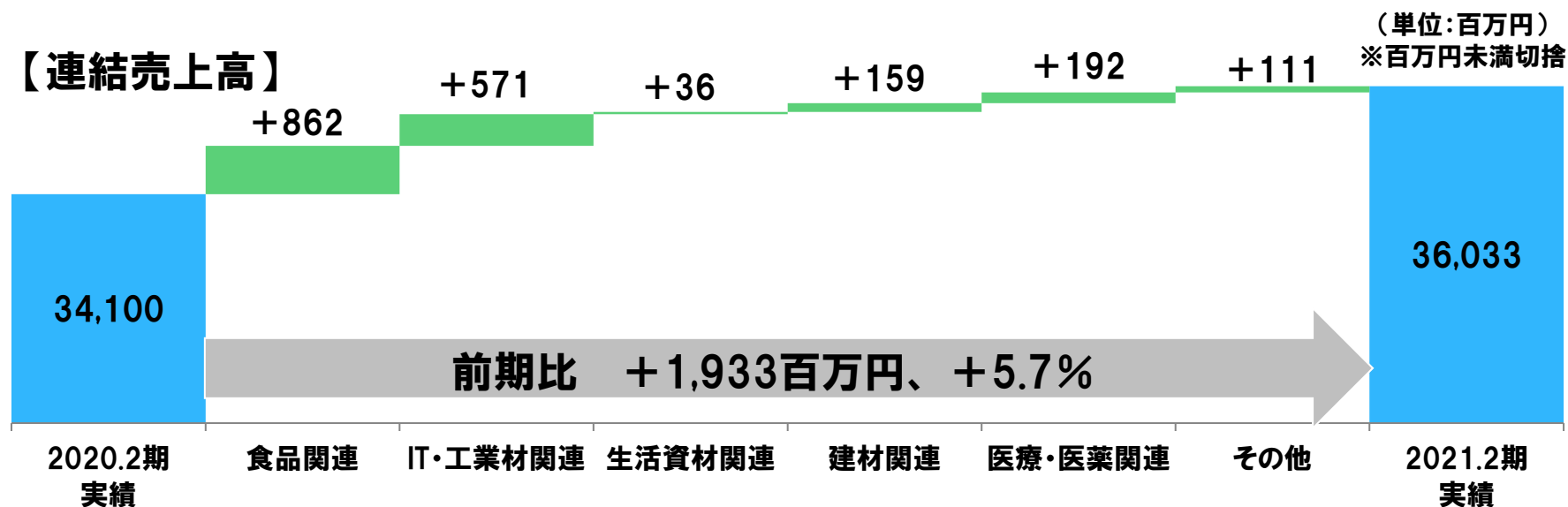
【連結売上高】



【連結営業利益】



売上高・営業利益増減要因（前期比）



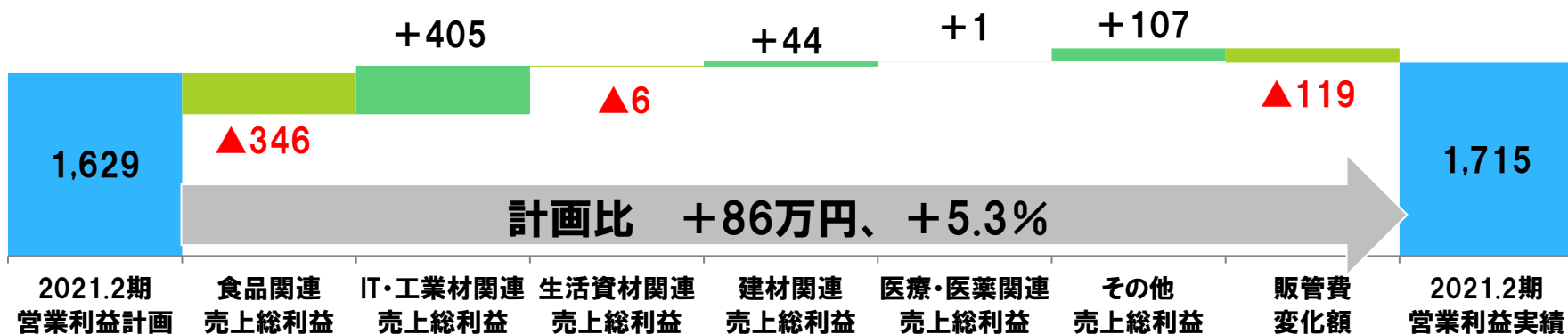
売上高・営業利益増減要因（計画比）

【連結売上高】

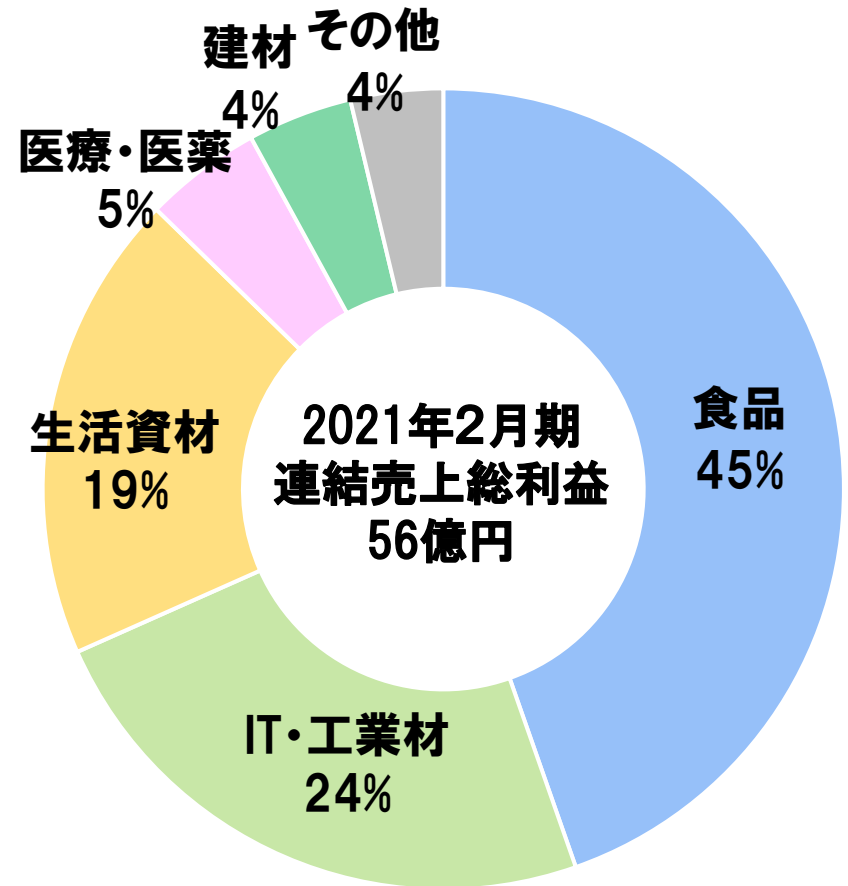
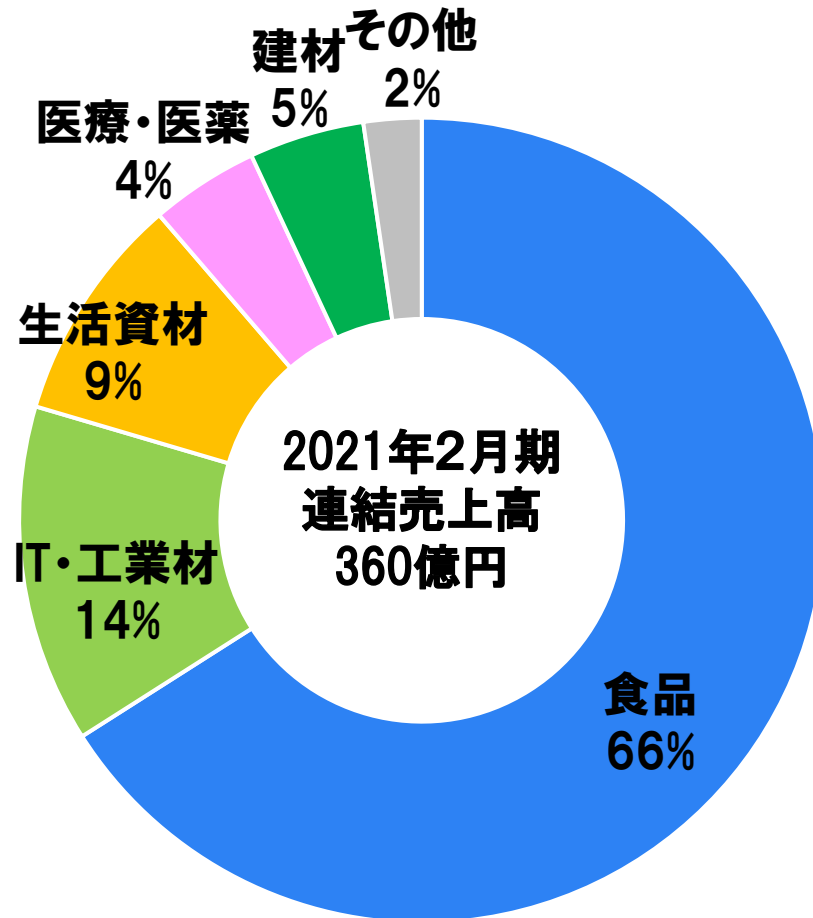
（単位：百万円）
※百万円未満切捨



【連結営業利益】

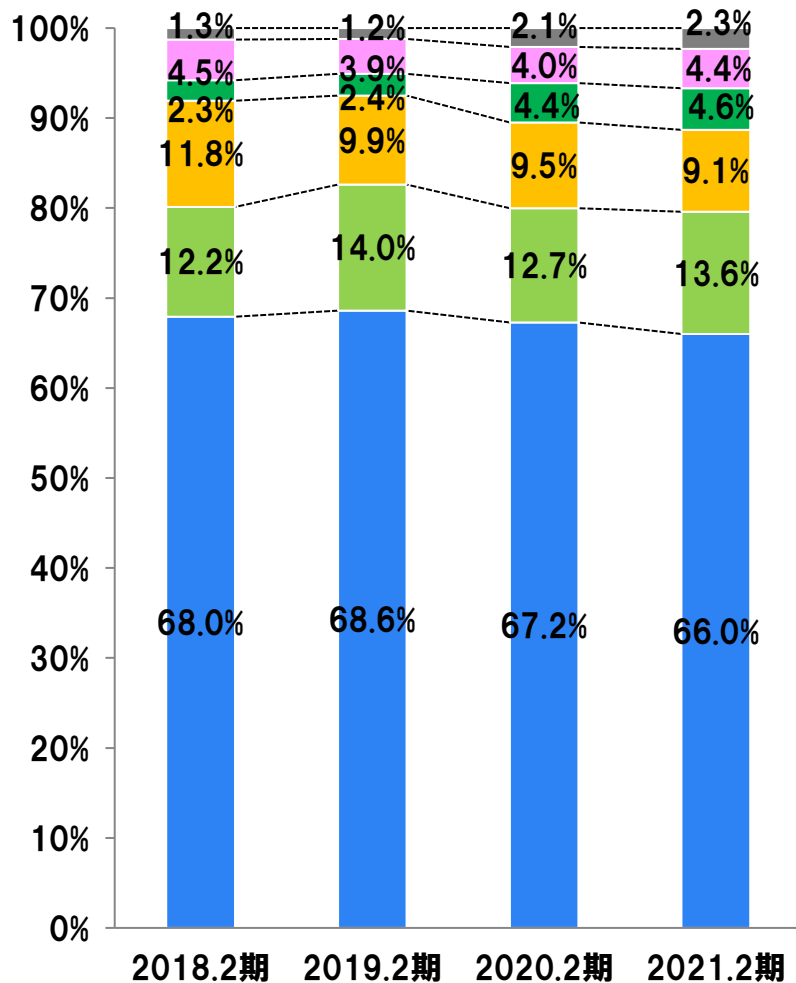


用途分類別売上高と売上総利益比率



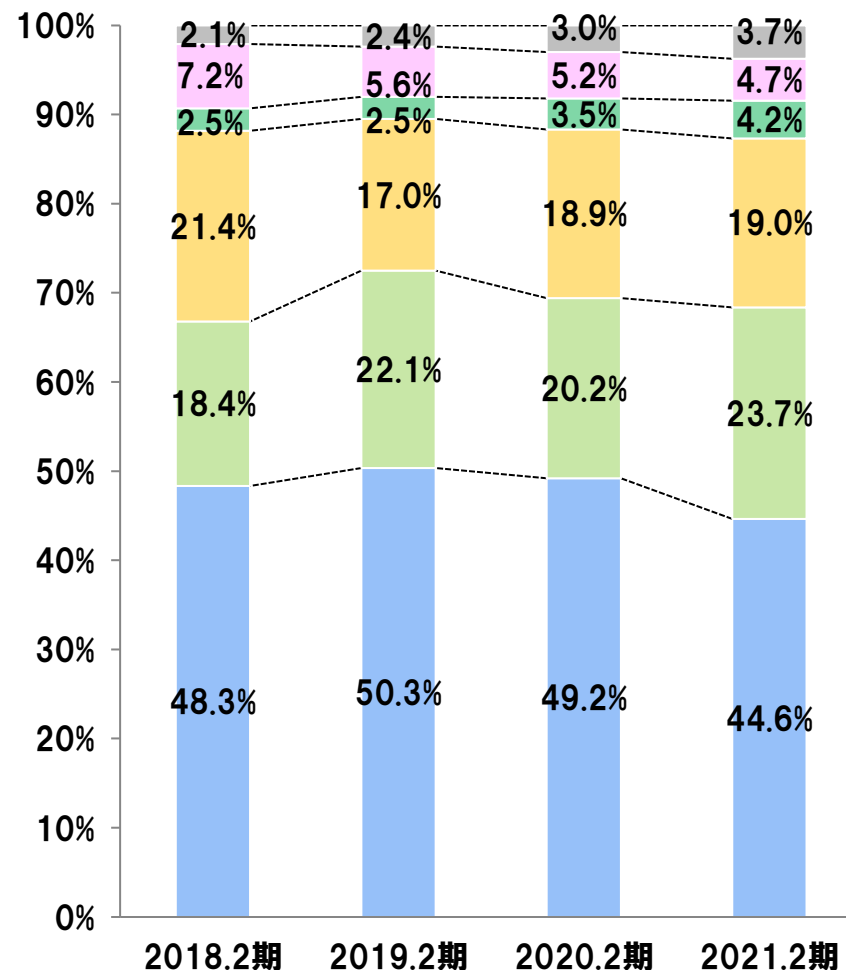
用途別売上高・売上総利益構成比の推移

連結売上高



■ 食品 ■ IT・工業材 ■ 生活資材 ■ 建材 ■ 医療・医薬 ■ その他

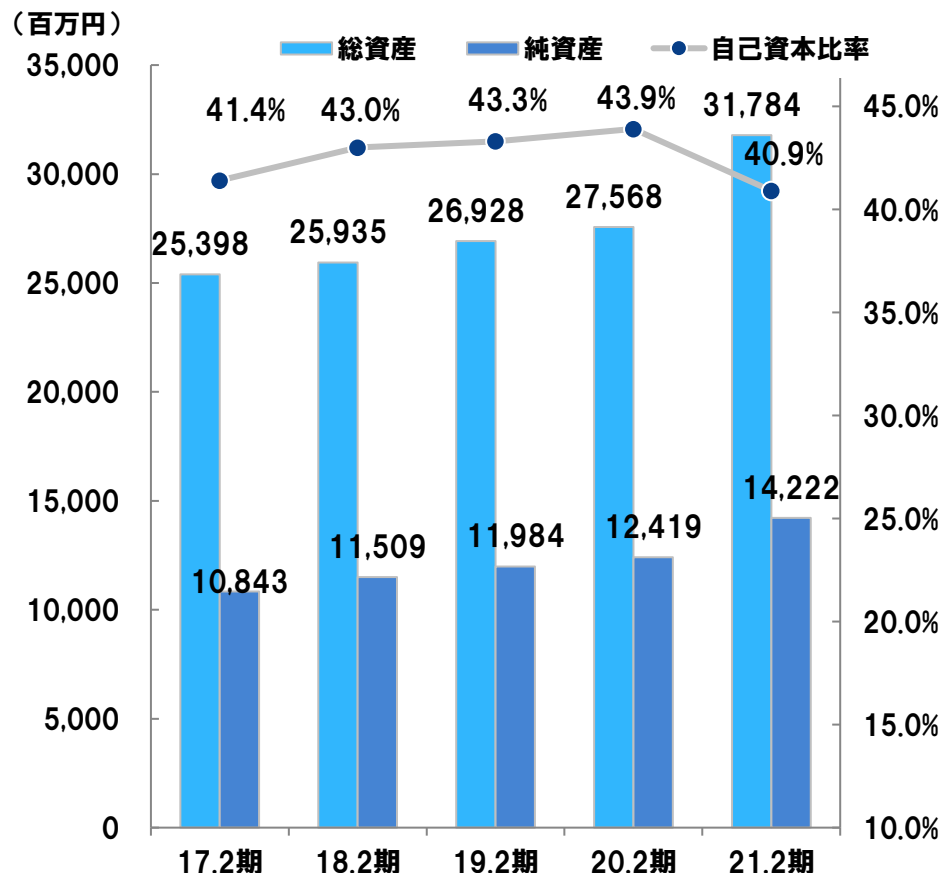
連結売上総利益



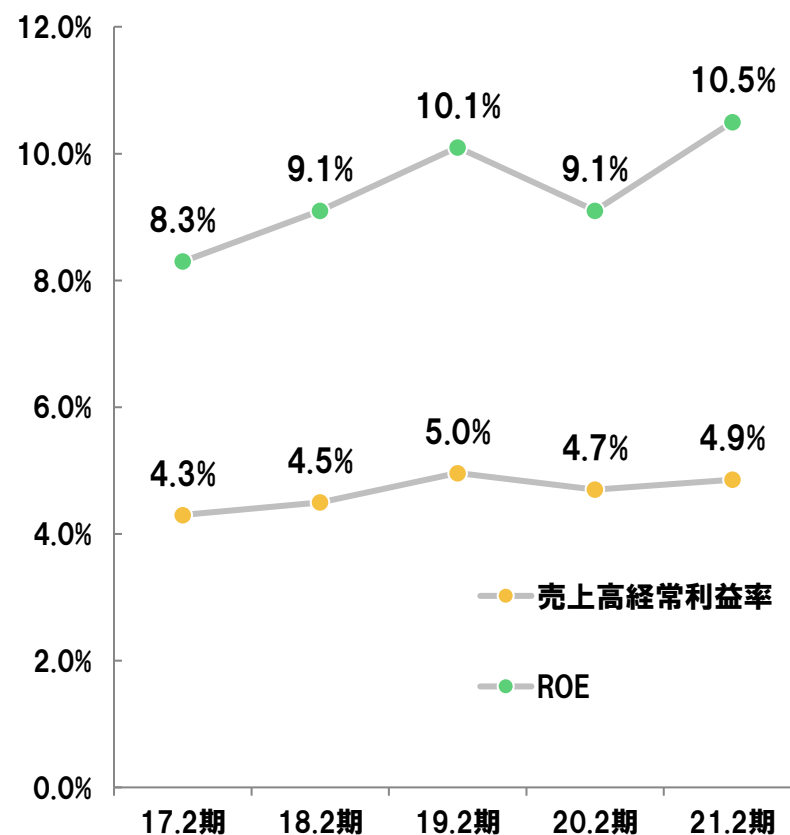
■ 食品 ■ IT・工業材 ■ 生活資材 ■ 建材 ■ 医療・医薬 ■ その他

堅調な業績を背景に、財務基盤がより充実

総資産・純資産・自己資本比率



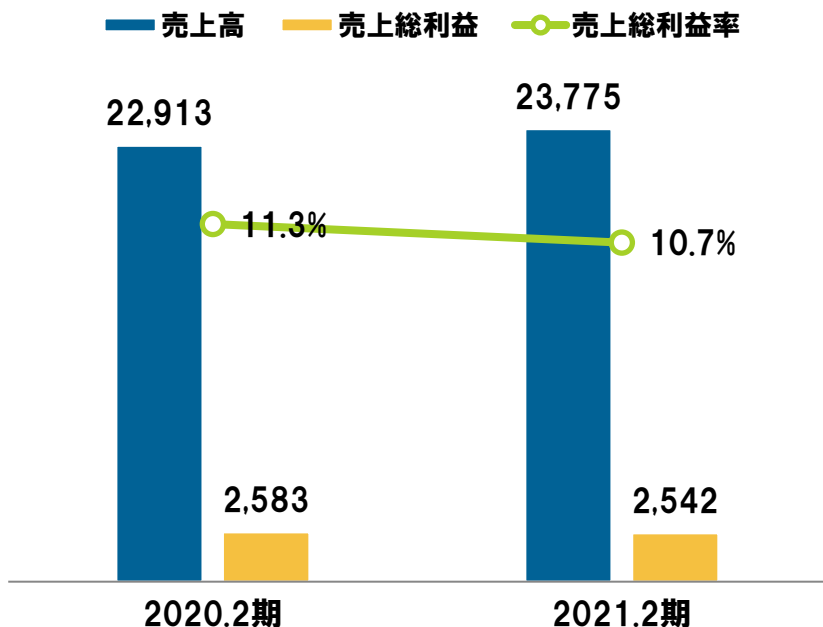
売上高経常利益率・ROE



用途別状況 食品関連

食品関連

(単位:百万円)



当社製品 採用例



パスタ容器



弁当容器 イメージ

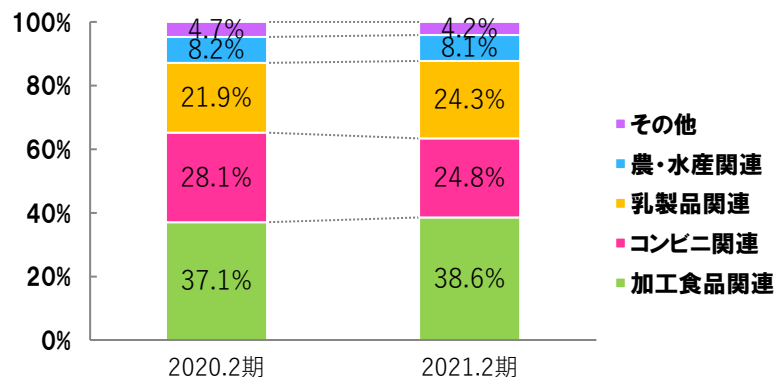


飲料蓋

■ 主要製品別販売状況

加工食品関連	<ul style="list-style-type: none"> ・冷凍食品、豆腐などのスーパーマーケット向け包材は好調 ・行楽、イベント用や外食向け業務用包材は減少
コンビニ関連	<ul style="list-style-type: none"> ・来店客数減少の影響を受け低調に推移
乳製品関連	<ul style="list-style-type: none"> ・市販用ヨーグルト、チーズ向け包材好調 ・業務用包材は減少
農・水産関連	<ul style="list-style-type: none"> ・トマト、キウイなど農産物向けが堅調に推移

■ 主要製品別販売構成比(連結)

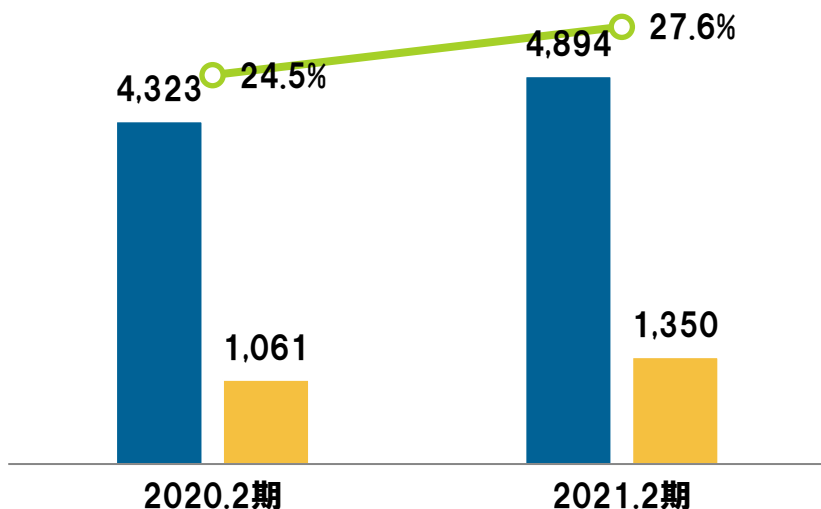


用途別状況 IT・工業材関連

IT・工業材関連

(単位:百万円)

■ 売上高 ■ 売上総利益 ● 売上総利益率



当社製品 採用例



各種工程フィルム

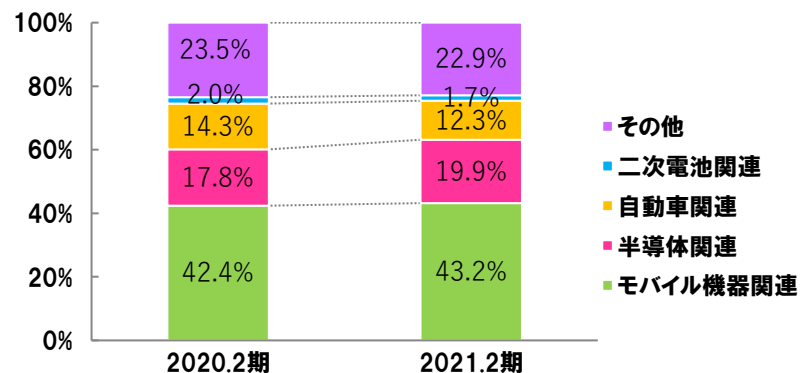


NSセパ

■ 主要製品別販売状況

モバイル機器関連	<ul style="list-style-type: none"> ・遮光、粘着などの加工案件が堅調 ・スマートフォン関係の新規受託案件獲得
半導体関連	<ul style="list-style-type: none"> ・5G関係や半導体の好調により電子部品製造工程用フィルムが増加
自動車関連	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車生産台数の減少に伴い不調 ・下半期より中国を中心に持ち直す
二次電池関連	<ul style="list-style-type: none"> ・現状スポット受注中心、新案件立上に注力
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・石化産業向け重袋等が増加 ・テスト案件も回復傾向

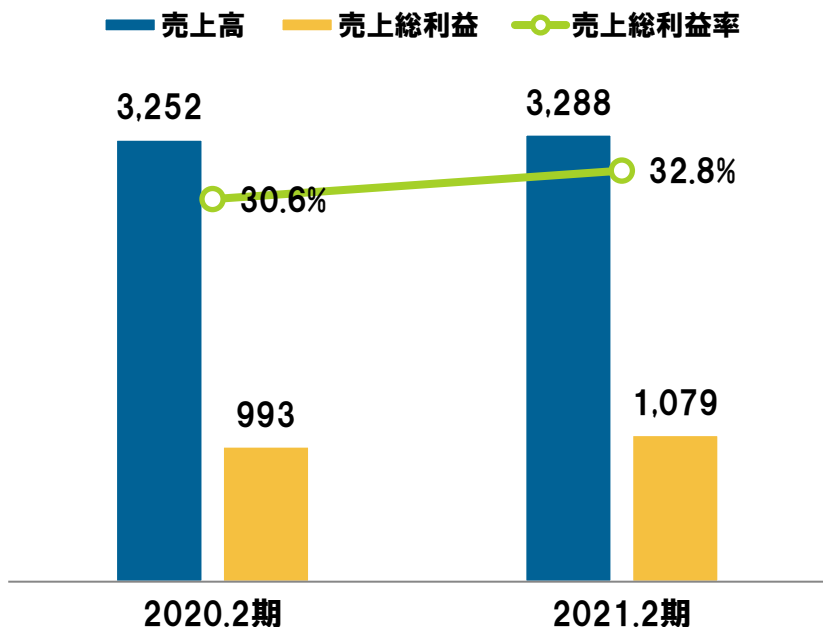
■ 主要製品別販売構成比(連結)



用途別状況 生活資材関連

生活資材関連

(単位:百万円)



当社製品 採用例



エアコン室外機用
遮熱シール



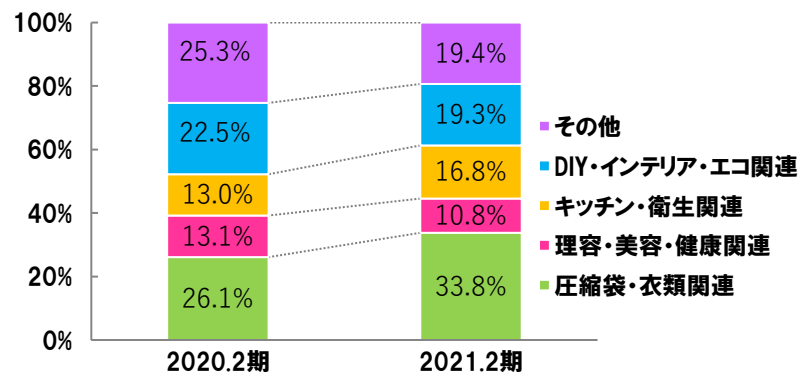
キッチンまな板シート

■ 主要製品別販売状況

圧縮袋・衣類 関連	<ul style="list-style-type: none"> TV通販向けの商材が増加 新規取引先の獲得により国内シェアトップ
DIY・インテリア・ エコ関連	<ul style="list-style-type: none"> 遮熱・断熱などの省エネにつながるエコ関連の新規商材が好調 DIYは他社参入もあり減少傾向
キッチン・衛生関連	<ul style="list-style-type: none"> まな板シート、キッチンマット、水切りなど新商品の売れ行き好調
理容・美容・ 健康関連	<ul style="list-style-type: none"> 毛染関係(くし、手袋)が減少、外出自粛の影響による使用頻度減少によると考えられる
その他	<ul style="list-style-type: none"> 主要製品別の構成変更により比率減少

※主要製品別の括りの見直しを行いました。
2020.2期も同様の基準で遡及して修正しています。

■ 主要製品別販売構成比(連結)

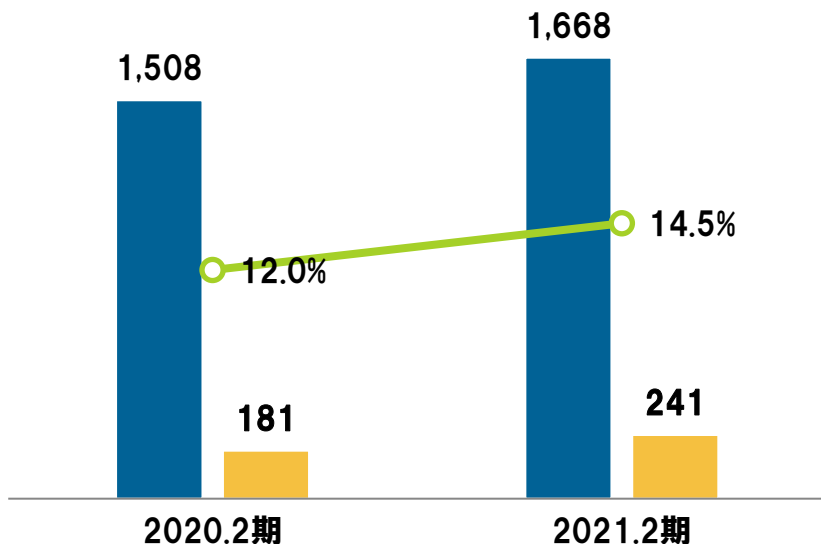


用途別状況 建材関連

建材関連

(単位:百万円)

■ 売上高 ■ 売上総利益 ○ 売上総利益率



当社製品 採用例



キッチン



クローゼット

■ 主要製品別販売状況

住宅関連

- ・前年に導入した塗工機を使った機能性建材が順調に推移、生産性も向上して利益率も改善

家具関連

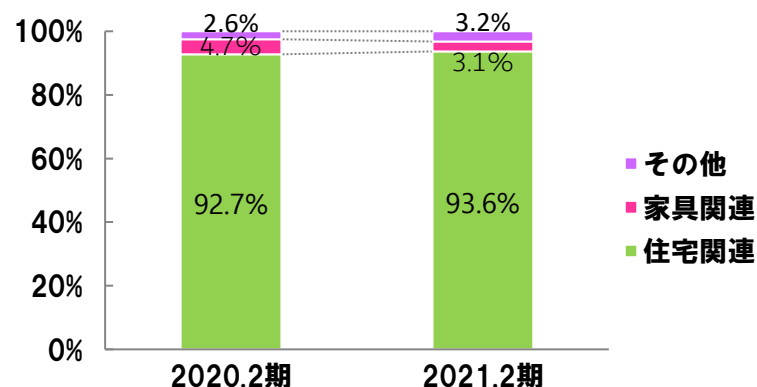
- ・家具向け印刷が減少

■ Nコート

Nコートはポリプロピレン系の合成紙であり、水に強い性質を活かし、主に自動販売機用のラベル、床材に使用されている。



■ 主要製品別販売構成比(連結)

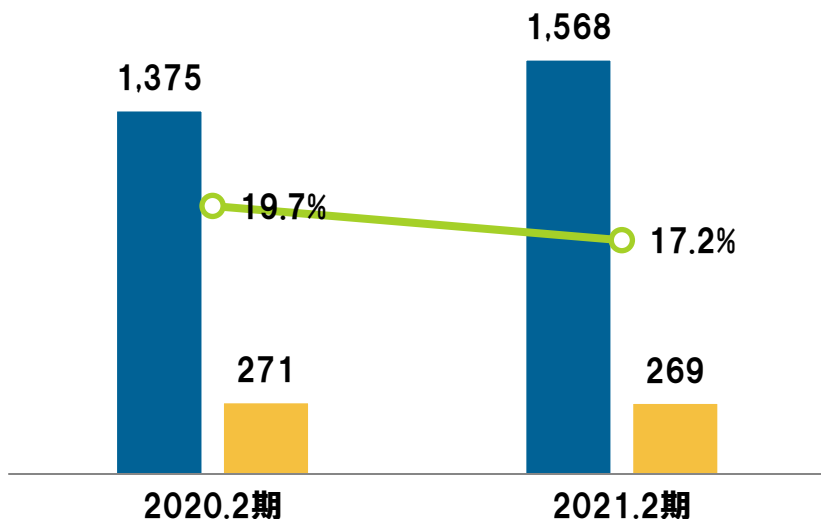


用途別状況 医療・医薬関連

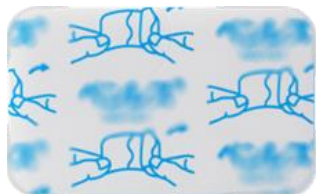
医療・医薬関連

(単位:百万円)

■ 売上高 ■ 売上総利益 ○ 売上総利益率



当社製品 採用例



麻酔テープ



フェイスシールド



防護服

■ 主要製品別販売状況

貼付剤関連

- ジェネリック医薬品用フィルムの受注数量は堅調に推移するも、単価下落や競争激化の影響を受け利益率が低下

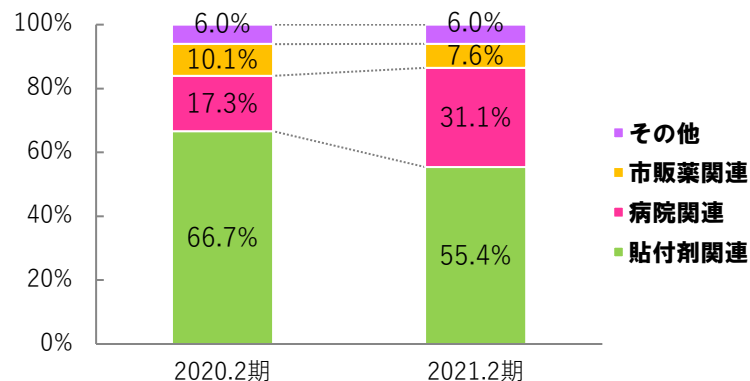
病院関連

- 輸液関係包材が増加
- フェイスシールド、防護服の加工を受託

市販薬関連

- 市販薬用包装材は減少

■ 主要製品別販売構成比(連結)



資産・負債の状況

(連結)

(単位：百万円、下段は構成比)

	2020.2末	2021.2末		
			前期末比差額	主な増減要因
流動資産	14,389 (52.2%)	16,823 (52.9%)	+2,434	現金及び預金+1,164 受取手形及び売掛金+504、 電子記録債権+335、たな卸資産+485
固定資産	13,178 (47.8%)	14,961 (47.1%)	+1,782	有形固定資産+1,585、 投資その他の資産+169
資産合計	27,568 (100.0%)	31,784 (100.0%)	+4,216	
流動負債	12,146 (44.1%)	14,975 (47.1%)	+2,828	支払手形及び買掛金+785、 短期借入金+1,114、その他+618
固定負債	3,001 (10.9%)	2,586 (8.1%)	▲414	長期借入金▲381
負債合計	15,148 (54.9%)	17,562 (55.3%)	+2,414	
純資産合計	12,419 (45.1%)	14,222 (44.7%)	+1,802	非支配株主持分+897、利益剰余金+857
負債・純資産合計	27,568 (100.0%)	31,784 (100.0%)	+4,216	
ネット有利子負債	4,594 (16.7%)	4,366 (13.7%)	▲227	現金及び預金+1,164、短期借入金+1,114 長期借入金▲381

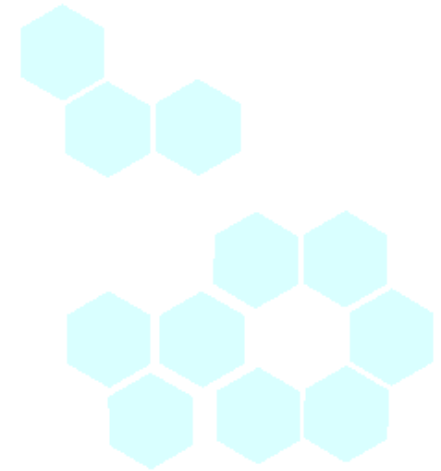
ネット有利子負債=(有利子負債-現金及び預金)

キャッシュ・フローの状況

(連結)

(単位：百万円)

	2020.2期 実績	実績	2021.2期
			概要
営業活動によるキャッシュ・フロー	896	2,436	税金等調整前当期純利益+1,832、 減価償却費+1,053、段階取得に係る差損+99、 仕入債務の増加額+302、 負ののれん発生益▲227、 たな卸資産の増加額▲258、 法人税等の支払額▲385
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,166	▲1,728	連結の範囲を伴う子会社株式の取得による収入+72、 生産加工設備等の有形固定資産の 取得による支出▲1,541
フリー・キャッシュフロー	▲269	707	
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲181	477	短期借入金の純増額+1,123、 長期借入れによる収入+729、 長期借入金の返済による支出▲849、 配当金の支払額▲457
現金及び現金同等物の換算差額	▲21	▲20	
現金及び現金同等物の増減額	▲472	1,164	
現金及び現金同等物の期首残高	3,015	2,542	
現金及び現金同等物の期末残高	2,542	3,707	



2022年2月期 業績見通し

当期の業績見通し

(新型コロナウイルス感染症の影響)

2021.2期まで

食品関連

- ・惣菜、冷凍食品、ヨーグルトなど乳製品向け包材は好調
- ・イベント、行楽の中止で高級弁当容器は減少
- ・デパ地下、外食産業向け業務用包材が営業自粛で減少

IT・工業材関連

- ・電子部品製造用フィルム、モバイル関連は堅調
- ・自動車関連は不振

生活資材関連

- ・大型ショッピングセンターの営業自粛で販売機会喪失

医療・医薬関連

- ・大きな影響なし

建材関連

- ・住宅着工件数減少、リフォーム市場も減少

2022.2期見通し

- ・中食、内食需要への対応継続
- ・イベント、行楽の本格的な回復時期はワクチン接種状況などにより2021年末頃と想定
- ・デパ地下、外食産業向けは苦戦が続くと想定

- ・5G関連需要は堅調、新アイテムも増加し、受注拡大
- ・中国中心に回復傾向

- ・ECサイト等での販売強化
- ・新規商材の販売堅調

- ・コロナ関連、防護服受注

- ・機能性建材、家具用建材印刷の受注拡大見込み

当期の業績見通し

(連結)

(単位:百万円、下段は構成比)

	2021.2期 実績	計画	2022.2期	
			前期比	
			差額	比率
売上高	36,033 (100.0%)	38,000 (100.0%)	+1,966	+5.5%
売上総利益	5,695 (15.8%)	6,110 (16.1%)	+414	+7.3%
販管費	3,980 (11.0%)	4,253 (11.2%)	+272	+6.9%
営業利益	1,715 (4.8%)	1,857 (4.9%)	+141	+8.2%
経常利益	1,750 (4.9%)	1,900 (5.0%)	+149	+8.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,315 (3.7%)	1,133 (3.0%)	▲182	▲13.8%

想定為替レート 15.4円/元

設備投資・減価償却費 計画

(連結)

(単位:百万円、下段は構成比)

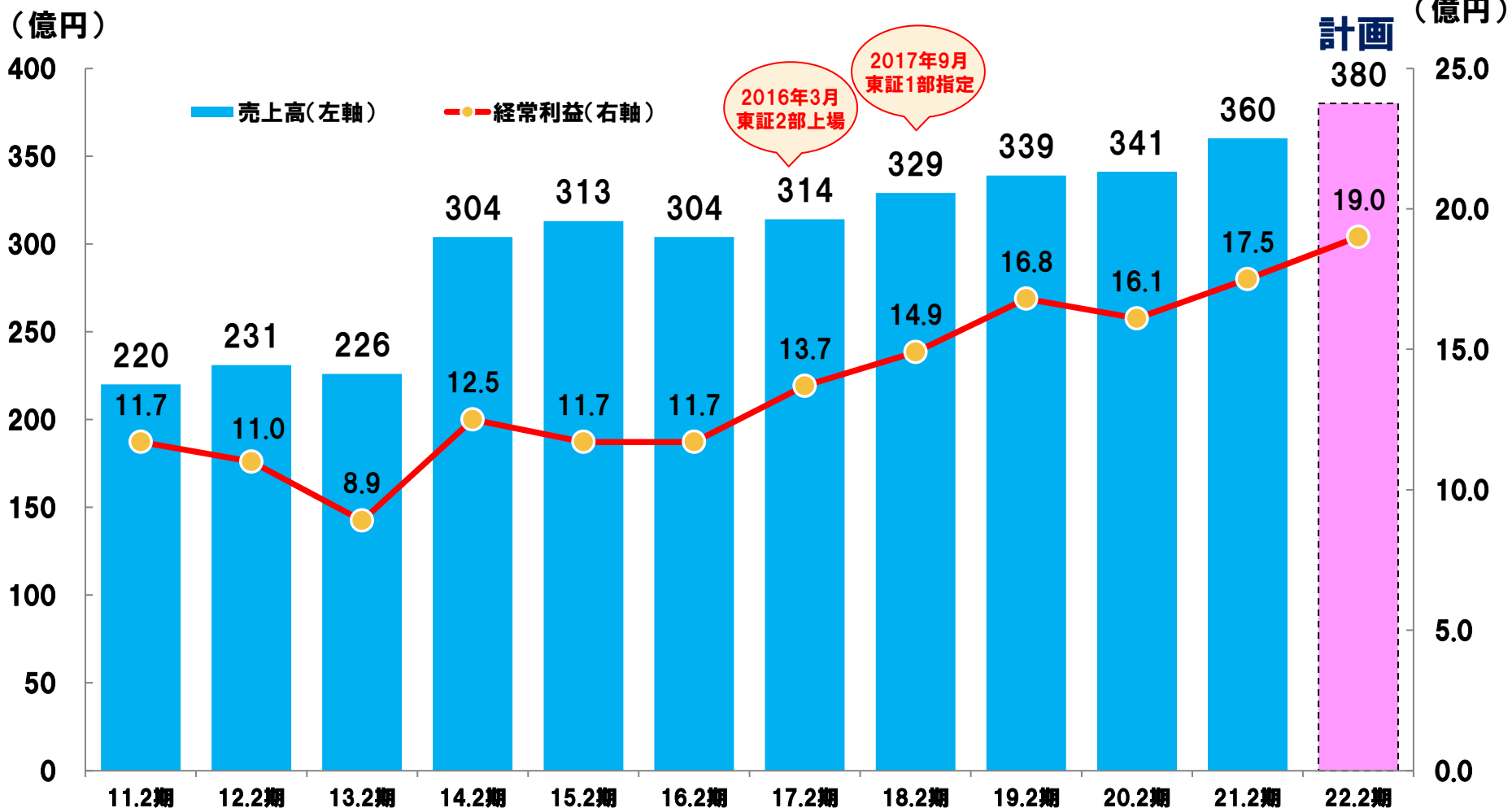
	2021.2期 実績	計画	2022.2期	
			前期比	
			差額	比率
設備投資額	2,070 (5.7%)	1,582 (4.2%)	▲487	▲23.6%
減価償却費	1,053 (2.9%)	1,452 (3.8%)	+399	+37.9%
研究開発費	87 (0.2%)	78 (0.2%)	▲9	▲11.0%

【2022.2期の主な設備投資】

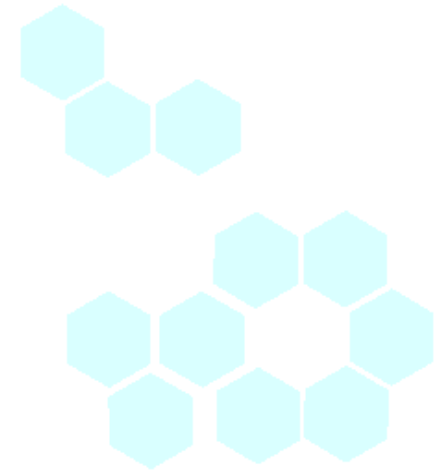
件名	内容	投資金額(億円)
工場・生産設備	工場倉庫増設等(名張)、成型機(エヌアイパックス)他	約5.8億円
IT化・システム付帯設備	新基幹システム関係他	約1.9億円
空調関連	空調設備(柏原・竜ヶ崎・名張)	約0.4億円
検査・測定・分析機器	検査・測定・分析機器(柏原・品質保証本部)他	約1.8億円
その他	VOC処理装置・地下タンク他	約3.0億円

全天候型経営で安定成長

中本パックスグループ 長期業績推移



(注)13.2期以前は単体、14.2期以降は連結



中本グループを取り巻く状況と 2022年2月期の重点取り組み

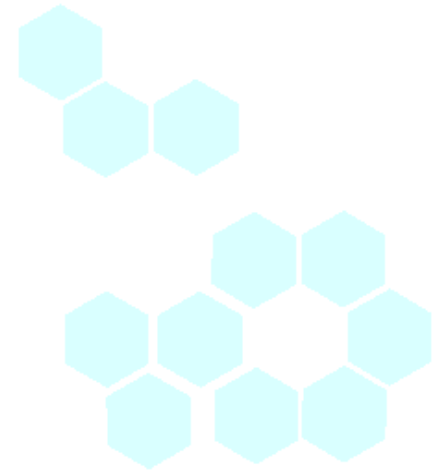
1. 新型コロナウイルスの蔓延、長期化による国内景気への影響
2. 少子、高齢化による人口減少
3. 地球温暖化、大気汚染防止、海洋廃棄プラスチック問題等の環境問題
4. 食品ロス削減、賞味期限延長、包装形態の変化
5. 中国の環境対策による中国工場の操業不安定リスク



◆基本方針

収益力向上による会社規模の拡大と安定経営
(全天候型経営)

- 1. 環境経営の推進**
- 2. 海外事業の拡大**
- 3. 営業力の強化**
- 4. 生産性向上、品質改善・技術力の強化**
- 5. 基幹システム刷新による効率化推進**



環境経営の推進

**CO2削減、溶剤使用量削減、
VOC排出量削減、石化原料使用量削減**

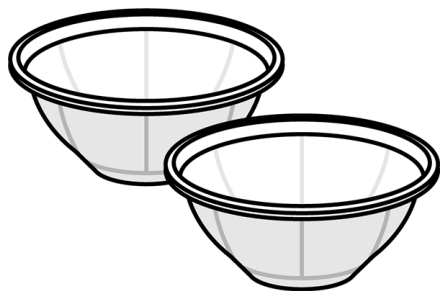
バイオマスインキ、接着剤の使用によるCO₂、石化原料使用量削減



従来型インキと比較してCO₂排出量15%削減

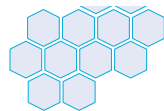
石化由来原料の使用量も削減

水性接着剤の使用による有機溶剤使用量、VOC排出量削減



従来型接着剤と比較して、有機溶剤使用量0

従来型接着剤と比較して、VOC排出量0



PET樹脂単体(モノマテリアル)、薄膜剛性で省資源、易リサイクル

CO2排出量削減最大30%、石化原料使用量削減30%

NAK-A-PET

食品関連

- 特徴
- ① 高剛性なので薄肉化が可能(省資源、コストダウン可能)
 - ② リサイクル原料、バイオマス原料の配合可能
 - ③ リサイクル可能な素材、環境及び食品衛生等に配慮した設計

用途 主に菓子、農産物などのトレー・フードパック

戦略 薄肉・高剛性の性質を訴求し、OPSシートからの置き換えを強力に推進



菓子トレー



乾めんトレー

NC-PET

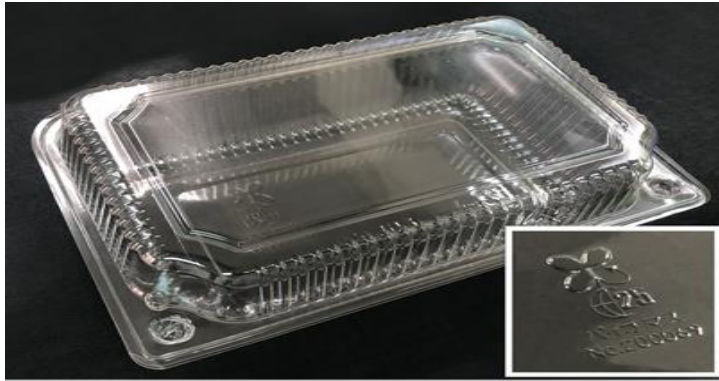
食品関連

- 特徴
- ① 耐熱性に優れている(220℃(但し成型条件による))
 - ② 耐寒性、保香性、剛性も高い

用途 主にグラタン等の焼成メニューの容器

戦略 焼成→冷凍・流通→解凍を移し替えなしに行えるメリットを提案





現行品から最大**30%**も薄く!

縦方向に一定に薄く伸ばことで
強度を強くします



バイオマス原料で環境負荷を軽減!



- 剛性も高く、従来の材料と比べてプラスチック使用量を**30%削減可能**
- 更に**バイオマスPET25%**使用で、**CO2排出量50%以上削減可能**
- 形状保持で、**ごみ減量も可能**

◎ 紙製 耐熱容器



◎ 紙と生分解性樹脂

紙に 生分解性プラスチックを薄膜押出が可能!

約1/3の薄さを実現!

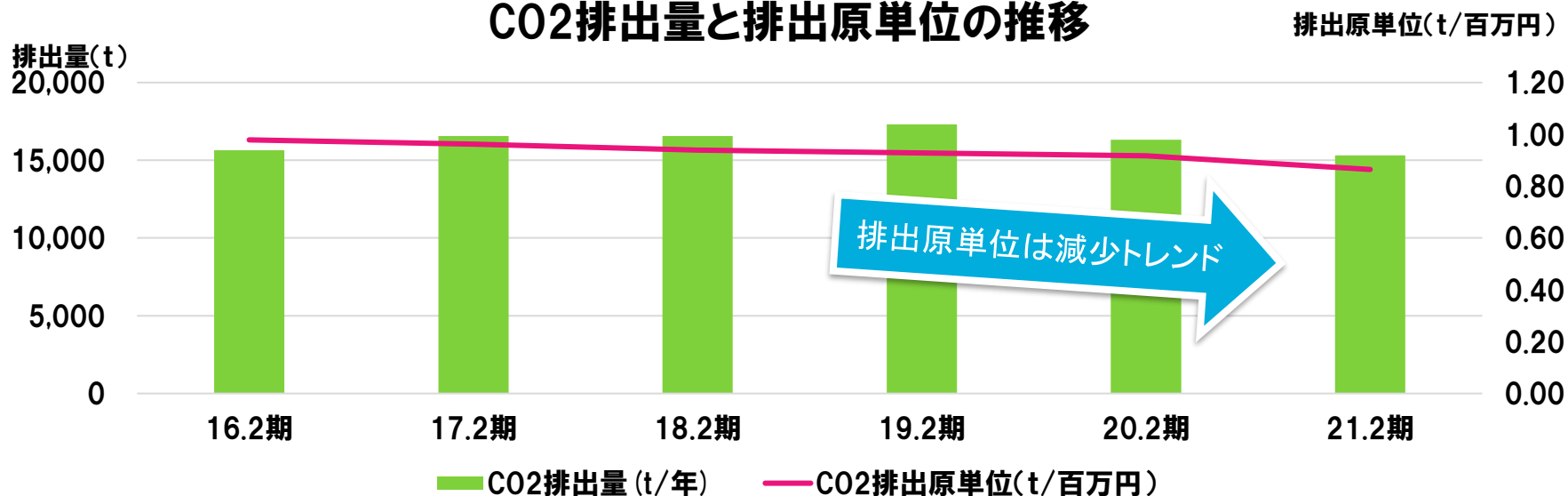
PLA	紙	高付加価値樹脂の薄膜押出加工が可能 紙リッチな独自仕様の環境対応包材ができます!
他社加工	PLA	30~40μm
当社加工	PLA	10~12μm

見えない部分も地球にやさしい素材を

子会社化した三国紙工の紙加工技術を活かした紙製耐熱容器

紙に生分解性樹脂をラミネートした製品も開発
土に戻る容器で環境負荷を低減する

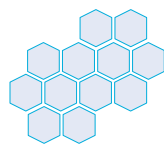
C02排出量と排出原単位の推移

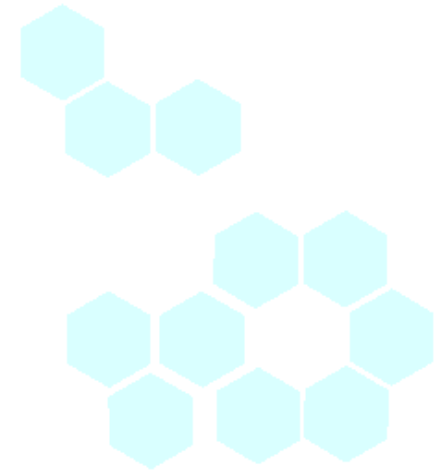


- ・2021年2月期 中本パックス株式会社7工場のC02排出量は15,307t(前年比6.2%減)
※エネルギー消費量から換算

◎C02排出量の削減要因

- ・省エネ設備への置換による生産効率向上(埼玉第三工場の最新コーター機の効果)
- ・埼玉工場に設置した太陽光発電装置の稼働開始(2020年11月～)
- ・印刷物等の生産数量(m)が1.4%減少
- ・全工場の平均ラインスピード2.0%アップによる生産性向上





海外事業の拡大

海外事業の拡大

第一弾

【滄州中本華翔新型材料有限公司】
2018年4月:新会社の設立と工場建設開始
2019年1月:工場建設完了
2019年9月:本格稼働開始
2020年:通年で黒字化

本格稼働を開始し、先期は通年黒字化



廊坊から滄州への生産移管

第二弾

【米国ナッシュビル営業事務所】
2018年7月:米国での営業開始(営業事務所と倉庫1か所)
2019年2月:順調に受注を重ね、倉庫が3か所に増加
2020年:食品包材分野での新規取組を推進

自動車内装材、食品包材、機能材分野で新規獲得を目指す



米国ナッシュビル営業拠点

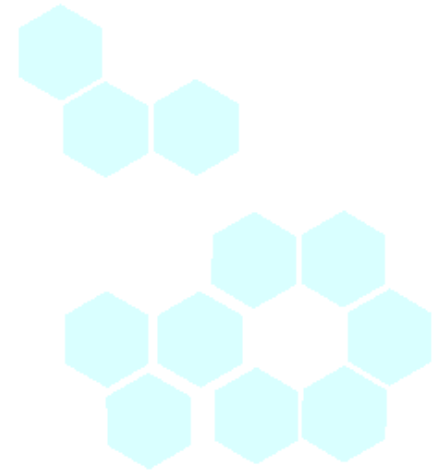
第三弾

【ベトナムに子会社を設立、工場の建設は完了】
2020年5月:ベトナム中部ダナン近郊のトアティエン=フエ省
の工業団地に新会社設立
2021年3月:工場建設完了
早期稼働開始に向け、設備導入手続中

チャイナプラスワンで海外事業拡大とリスク分散をはかる



ベトナム新工場



経営基盤の強化

- ・営業力の強化、生産性向上、品質改善・技術力の強化
- ・基幹システム刷新による経営判断のスピードUP、効率化の推進

☆営業力の強化

- ・営業支援ツールを活用した情報共有と活動効率の向上
- ・新規顧客の獲得、とりわけ成長分野へのアプローチ強化
- ・環境に優しい素材・加工・製品の提案
- ・当社グループ設備の特徴を生かした実機試作→量産への展開加速
- ・技術部門と連携したハイエンド品への展開

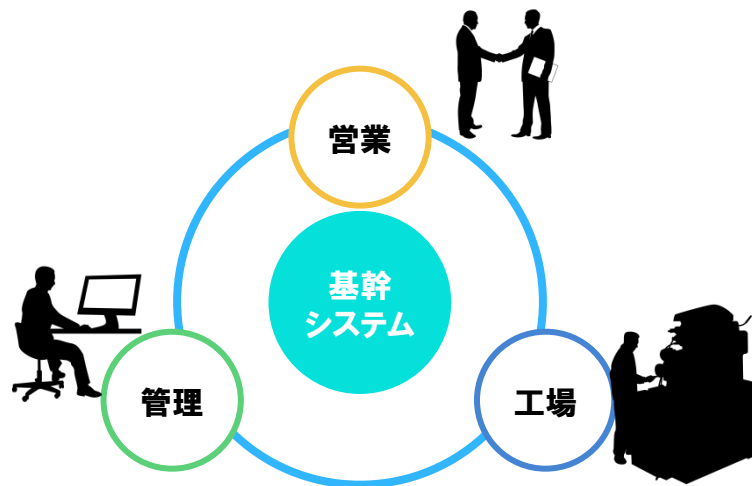
☆生産性向上、品質改善・技術力の強化

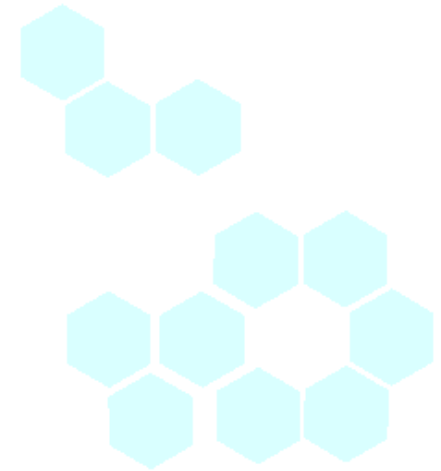
- ・生産性向上と製造原価低減を徹底
- ・分析機能の充実
→埼玉第三工場に分析センターを新設しております
- ・製品設計、塗材開発の強化
→技術開発部隊を設置し、開発を強化しています

☆基幹システム刷新の狙い (要件定義は概ね完了、 2022年5月の稼働を目指す)

(現在の基幹システム刷新の方向性)

- ・経営指標早期把握による経営判断のスピードUP
- ・SCMによる効率的な生産と適正在庫
- ・データ活用による、営業活動効率化、品質改善
- ・定例業務の見直し、業務の効率化、省力化
- ・グループ経営の強化

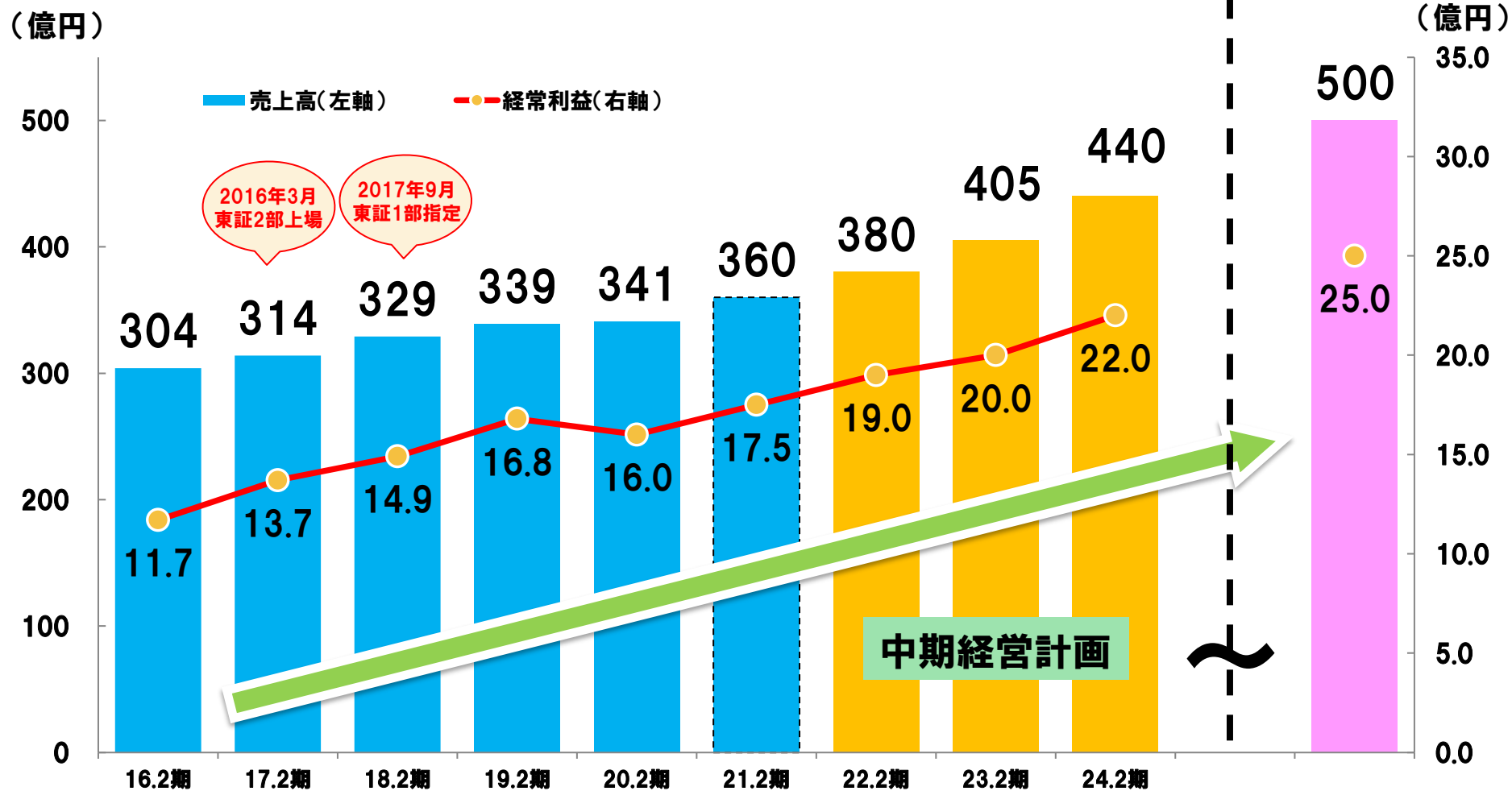




収益力向上による会社規模の拡大と安定経営 (全天候型経営)

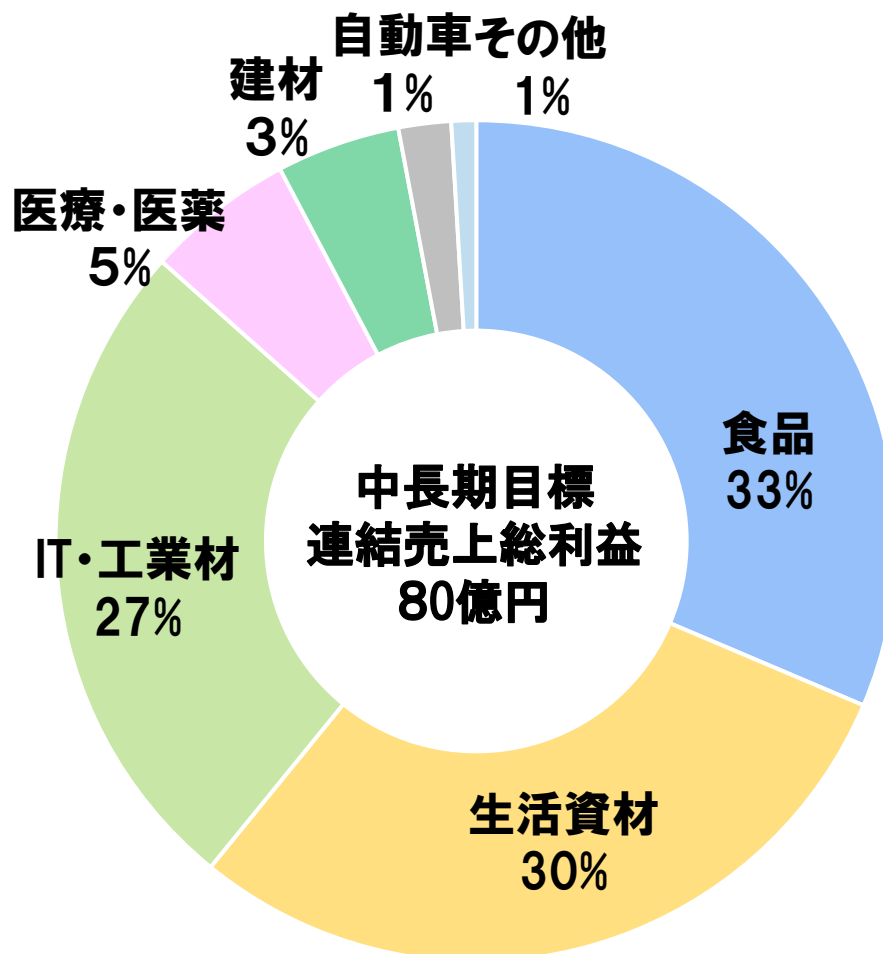
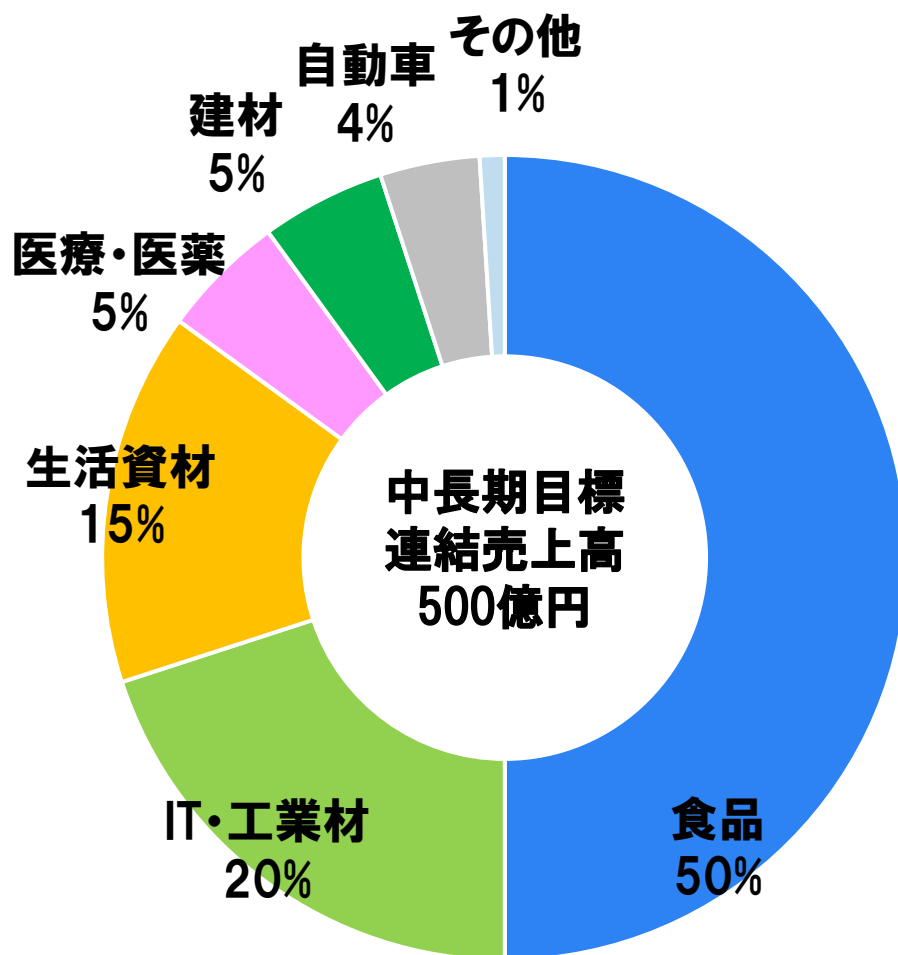
中期業績目標(連結)

中期計画を策定:売上高500億円 経常利益25億円を目指す

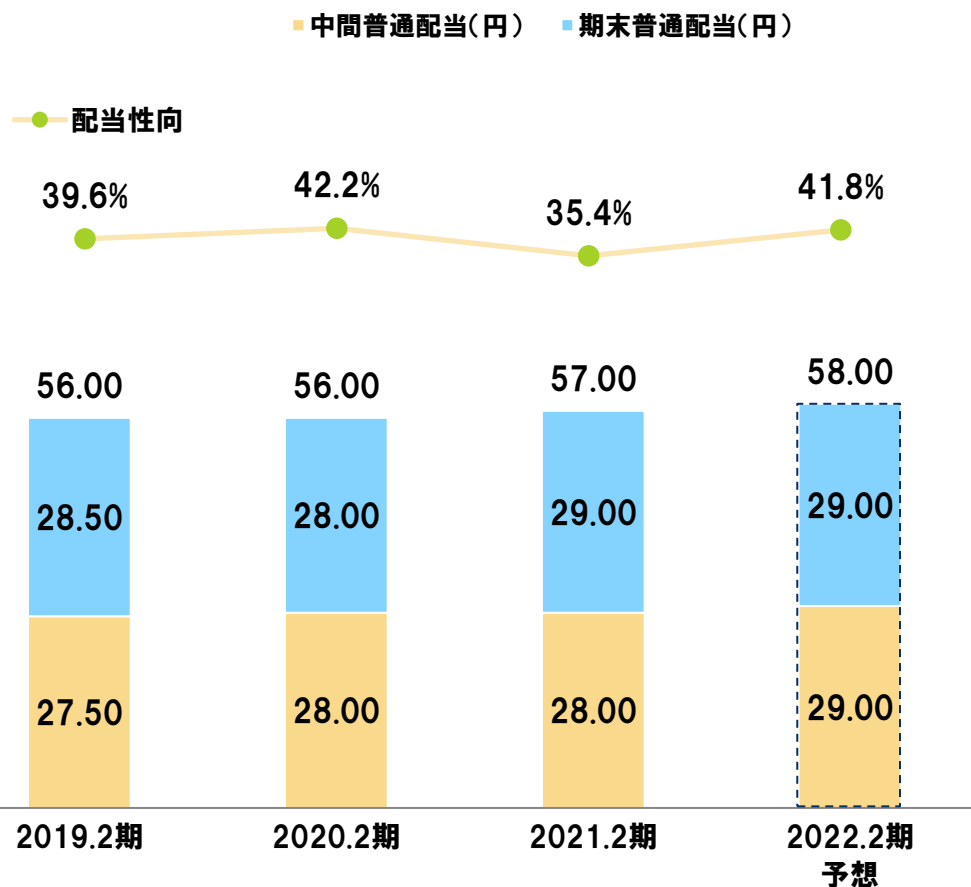


(注)10.2期~13.2期は単体、14.2期以降は連結

食品も伸ばしながら、他の分野を伸ばして収益バランスを整える



■ 必要な内部留保を確保しつつ、安定配当を実施していく



【株主優待制度】

対象となる株主様

毎年2月末現在の当社株主名簿に記載または記録された、当社株式1单元（100株）以上保有する株主様

株主優待内容

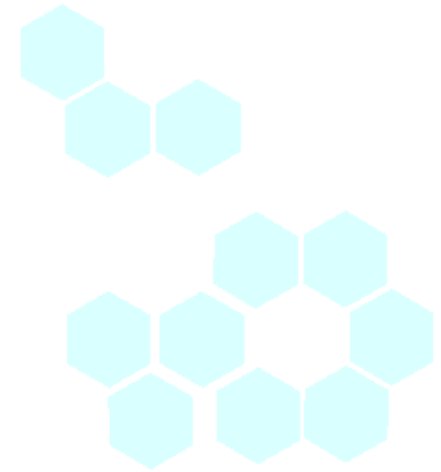
100株以上200株未満	QUOカード1,000円分
200株以上	QUOカード2,000円分

※2021年2月末現在の株主名簿に記載または記録された株主様への贈呈分より、株主優待制度の変更（拡充）を適用

贈呈時期

毎年5月末頃を予定

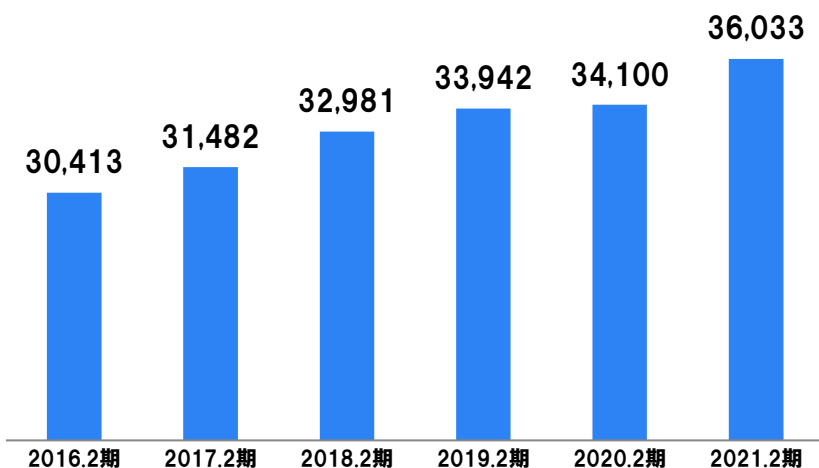




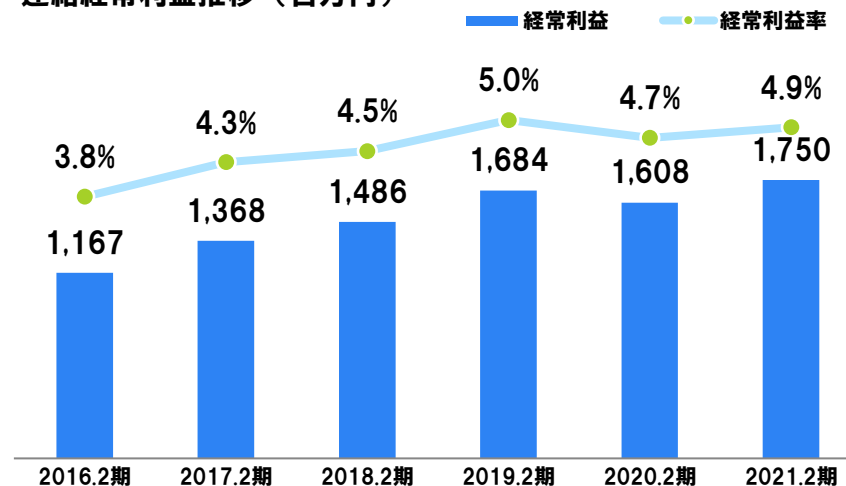
参考資料

業績推移 1/2

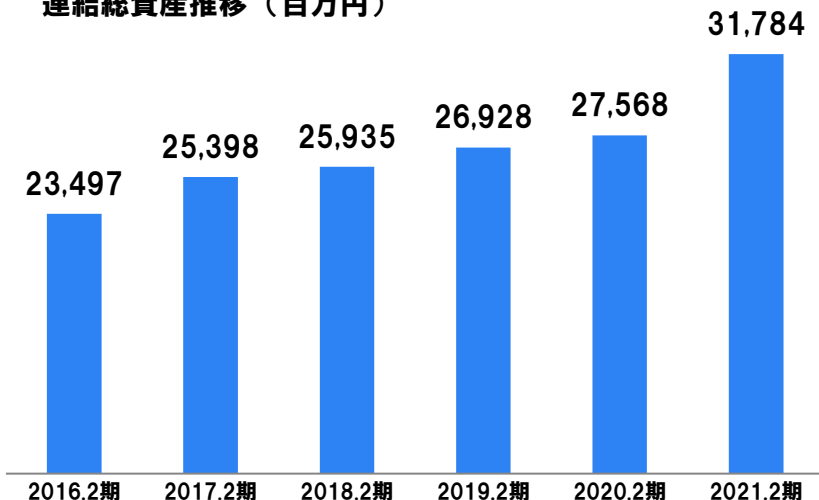
連結売上高推移 (百万円)



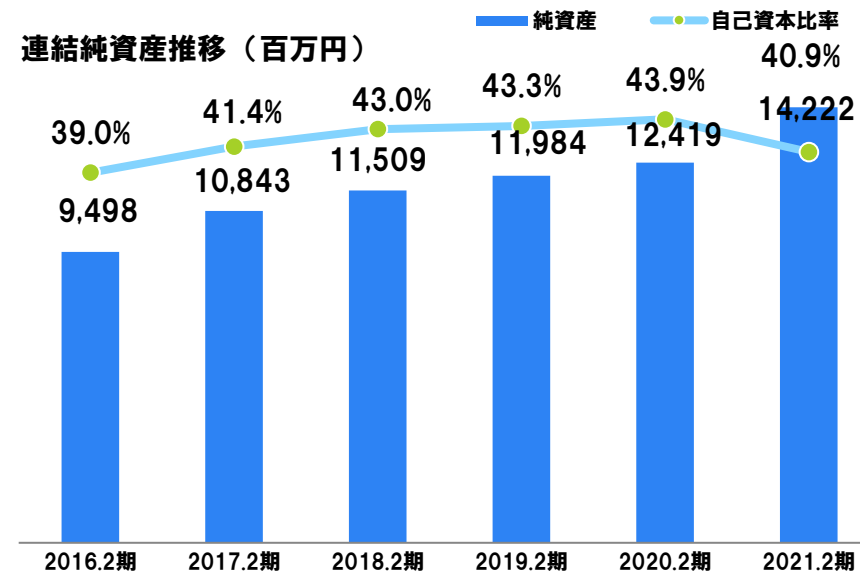
連結経常利益推移 (百万円)



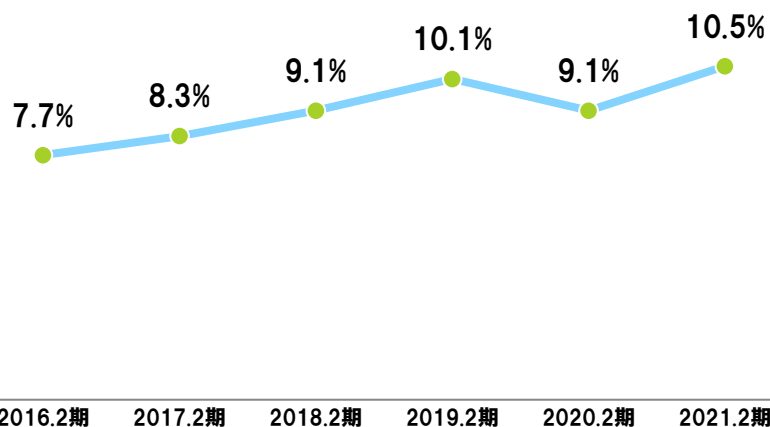
連結総資産推移 (百万円)



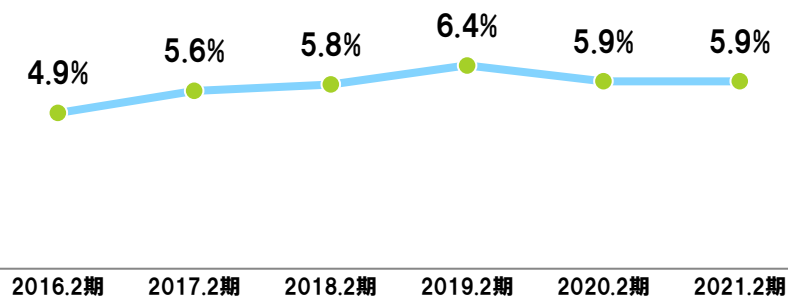
連結純資産推移 (百万円)



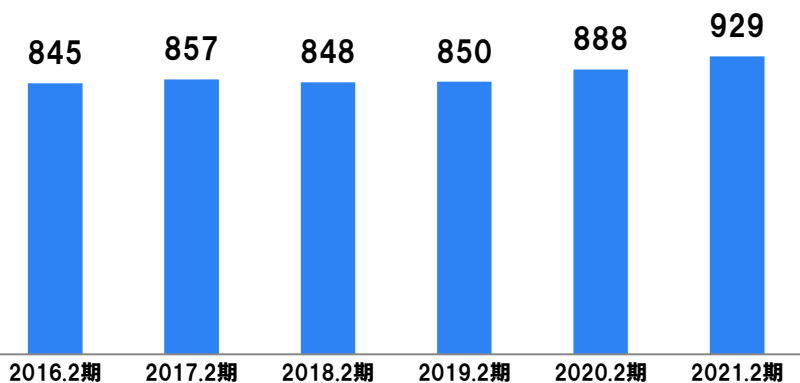
連結ROE推移



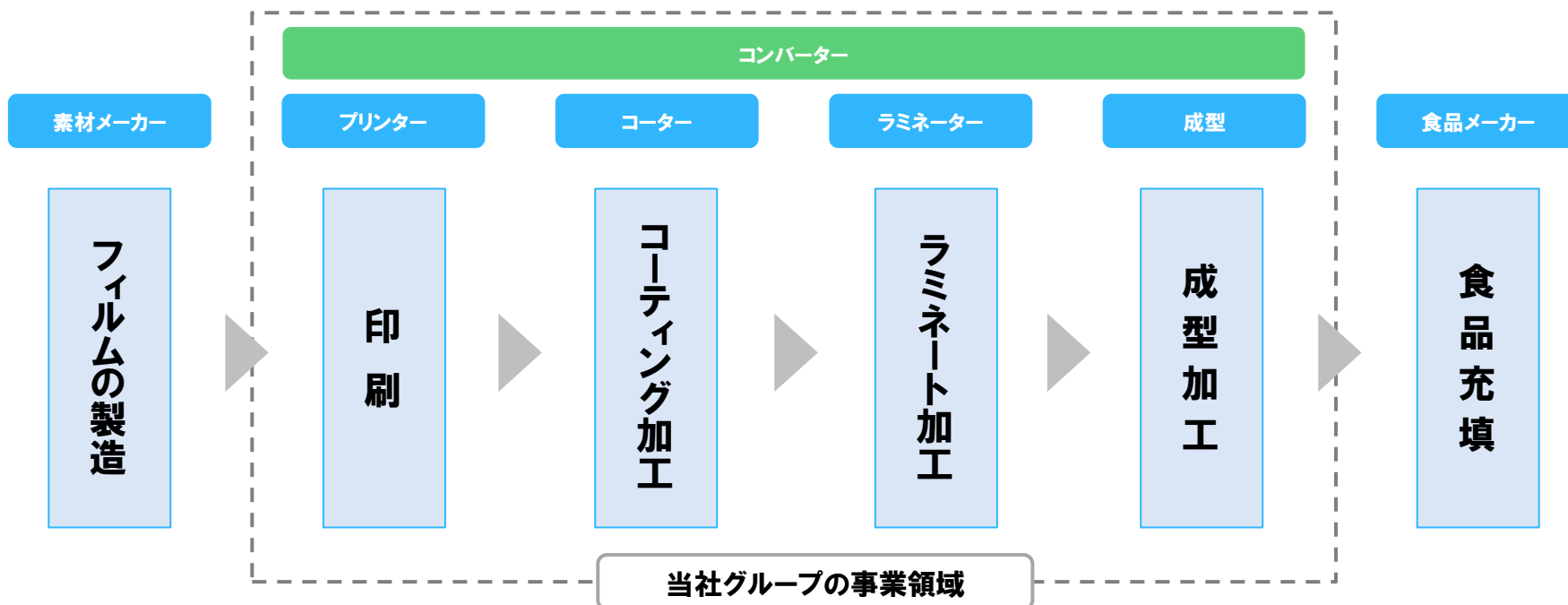
連結ROA推移



連結従業員数推移 (人)



包装材印刷加工のプロセス(例)



種類	説明
グラビア印刷	凹版印刷(印刷しようとする文字や模様などの部分が凸版印刷と反対に窪んでいる版面を使う印刷)で、微細な濃淡が表現できる
ラミネート加工 (ドライラミネート及びサーマルラミネート)	包装材料の強化及び機能付加を目的として、接着剤により多層複合化すること
コーティング加工	素材表面を樹脂等の薄い皮膜で覆い、素材を保護したり、機能性を持たせること
成型加工	プラスチックシートに熱を加え、形を変えること(食品用容器、トレー、蓋等)インフレーション法により、プラスチックフィルム及びシートを製膜すること

“人に、環境にやさしい企業をめざして～クリーン＆セイフティ～”

社是

「事業は人なり人は心なり、楽しい会社を努力と奉仕と人の和で」

経営行動綱領

- 「誠実と誠意で信用を高めよう」
- 「忍耐を以って創意工夫をしよう」
- 「自己を啓発し協調精神を養おう」
- 「共存共栄を計り社会に貢献しよう」
- 「技術向上と力闘精神を発揮しよう」
- 「礼節と報恩で喜びを得よう」

使命観6ヶ条

- 「私達は顧客の声を心を開いて聞きます」
- 「私達は印刷及び包装容器に新しい技術を蓄積し提供します」
- 「私達は社内外の連絡を密にし、スピードと誠意で納期を厳守します」
- 「私達はお得意先との共存共栄を追求し繁栄に責任をもちます」
- 「私達は感動される仕事とシステムを通じ、より多くの固定ファンをつくります」
- 「私達は運命共同体中本グループのオアシス境をつくります」

【ご注意事項】

本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により実際の数値と異なる可能性があります。